

会派代表質問順位

(令和8年2月定例会議)

質問順位	会 派 名	発 言 者
1	つくばクラブ (所属議員数 8名)	木村清隆議員 36分
2	N e x t つくば (所属議員数 7名)	塚本洋二議員 34分
3	つくば・市民ネットワーク (所属議員数 4名)	あさのえくこ議員 28分
4	公明党つくば (所属議員数 3名)	渡辺峰子議員 26分

※発言時間：会派割りとして1会派20分、人数割りとして1人当たり2分



会派代表質問発言通告書

令和 8 年 2 月 1 7 日
午前 11 時 25 分 受付
(通告書 3 枚) No. 1

令和 8 年度市政運営の所信と主要施策の概要に対し、下記の事項について、会派を代表して質問したいので通告します。

令和 8 年 2 月 1 7 日

つくば市議会議長 黒田 健祐 様

会派名 つくばクラブ

代表者氏名 小久保 貴史

会派構成議員数 8 人

発言者氏名 木村 清隆

質問事項	要 旨	答 弁 者
1 はじめに (1～3ページ)	「将来世代に責任を持つ市政運営のために、、、覚悟をもって市民の皆さんに、、、。」とありますが、どのような「責任」「覚悟」かお伺いいたします。 さらに、来年度予算を「未来への持続可能な投資」をテーマに編成し、限られた財源をどのように将来へいかしていくのか、大変厳しい判断と責任ある選択が求められたこと、そして不断の改革を進めることについて、詳細をお伺いいたします。	市長
2 令和8年度当初予算(案)の概要 (3ページ)	一般会計における前年度当初予算との比較で、46億1,500万円、3.6%の減について、また、予算編成についてどのような点を考慮したかお伺いいたします。	市長
3 徹底した行政改革～さらに市民第一の市政へ～ (3～4ページ)	「やさしいテクノロジー」を活用した政策立案により、新たな市民の幸せを創る施策について、以下伺います。 (1) スマートヘルスケア推進事業の内容と効果 (2) 行政窓口のデジタル化の内容と効果 (3) 生活保護AI相談システム導入の内容と効果 (4) データ利活用推進事業の内容と効果 (5) 庁内ネットワーク基盤整備事業の内容と効果	市長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承

質問事項	要 旨	答 弁 者
<p>4 安心の子育て ・教育 ～子ども とママパパにも っとやさしい子 育て環境～ (4 ページ)</p>	<p>安心の子育て・教育では、各家庭の状況や一人 ひとりの成長段階に応じた支援や、多文化共生を 支える学びの基盤整備を進め、中高生が多様な活 動できる環境整備の施策について、以下伺います。</p> <p>(1) ブックスタート事業の内容と効果 (2) つくば市プレスクール・プレクラスの内容、 今後の取組及び効果 (3) 小規模特認校制度の導入の内容と効果 (4) 学校施設整備事業(香取台小学校増築、吾妻 小学校建設)の内容と学校施設の整備方針 (5) 部活動改革・地域展開推進事業の内容と今 後の取組 (6) ユースセンター事業の内容と今後の取組</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>5 頼れる福祉 ～すべての人が 自分らしく生き る社会～ (5 ページ)</p>	<p>高齢者や障害者、貧困など様々な困難を抱える 方々に寄り添った施策について、以下伺います。</p> <p>(1) 地域包括支援センターの運営(新規センタ ーの開設を含む)の内容と今後の取組 (2) 児童発達支援センター整備事業の内容、推 進状況及び効果 (3) 大学等受験料及び模擬試験料補助金の創設 の内容と期待する効果 (4) がん患者アピアランスケア支援助成金の創 設の内容と今後の取組 (5) DV等相談支援事業(配偶者暴力相談支援セ ンターの新設を含む)内容と今後の取組</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>6 便利なインフ ラ ～快適で持 続可能なインフ ラ整備～ (5～6 ページ)</p>	<p>つくばの地域資源をいかし、つくばの魅力を高 める施策について、以下伺います。</p> <p>(1) 自動運転バス実証事業の内容と効果 (2) スマートモビリティ推進事業の内容と効果 (3) シェアサイクル「つくチャリ」事業の推進 状況、今後の取組及び効果 (4) 道路・街路維持管理事業の取組 (5) 中央公園リニューアル事業の内容</p>	<p>市長</p>

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了

質問事項	要 旨	答 弁 者
<p>7 活気ある地域～つながりを力に活力ある地域へ～ (6 ページ)</p>	<p>心安らぐ環境と活気ある経済が調和する、暮らしやすく誰もが住み続けたいまちを築いていく施策について、以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 森林バンク事業の内容と効果 (2) 産業用地創設事業の内容と今後の進め方 (3) 区域指定追加策定事業の内容と市内全域を含めた今後の実施方針 (4) アーバンスポーツ施設整備事業の内容と効果 (5) (仮称) つくば市陸上競技場整備事業の現状と今後の整備 	<p>市長</p>
<p>8 誇れるまち～つくばの魅力をとともに創る～ (6～7 ページ)</p>	<p>つくばの地域資源をいかし、つくばの魅力を高める施策について、以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地酒振興事業の今後の取組 (2) 道の駅整備推進事業の内容、推進状況及び周辺地域の課題解決に向けた取組 (3) 芸術文化創造拠点整備事業の内容と今後の取組 (4) 新図書館検討事業の内容と今後の取組 (5) 生物多様性つくば戦略推進事業の内容と今後のいかし方 	<p>市長 教育長</p>
<p>9 むすびに (7～8 ページ)</p>	<p>「世界のあしたが見えるまち」は、華やかな未来だけを指すものではありません。難しい判断、厳しい選択、困難な課題に直面しても、目を背けず、対話を重ね、最適解を導き続ける「悩み、挑戦する姿勢」について、今後の市政に対する思いを伺います。</p>	<p>市長 教育長</p>

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承



会派代表質問発言通告書

令和 8 年 2 月 16 日
午後 2 時 52 分 受付
(通告書 2 枚) No. 1

令和 8 年度市政運営の所信と主要施策の概要に対し、下記の事項について、会派を代表して質問したいので通告します。

令和 8 年 2 月 16 日

つくば市議会議員 様

会派名 Next つくば

代表者氏名 飯岡 宏之

会派構成議員数 7人

発言者氏名 塚本 洋二

質問事項	要 旨	答 弁 者
1 はじめに (1～3ページ)	(1) 物価高が市民生活のみならず、「自治体経営そのものにも直接的な影響を及ぼしています」とありますが、具体的見解を伺います。 (2) 周辺市街地での「15分都市」に取り組むに当たって、想定される地域とこれまでの検討状況及び今後について伺います。	市 長
2 徹底した行政改革 (3～4ページ)	「たしかなデータ」と「やさしいテクノロジー」を活用する新たな政策について以下伺います。 (1) 「本人の意思を尊重した医療・ケアが救急搬送時等にも適切に提供されるためのデジタル環境の構築」の取組について伺います。 (2) 「外出が困難な重度障害者等の遠隔就労モデルの社会実装に向けた」取組について伺います。	市 長
3 安心の子育て・教育 (4ページ)	(1) すべてのこどもが本に触れる機会となるブックスタート事業の具体的内容を伺います。 (2) 来日間もない児童生徒を対象とした支援策であるプレスクール・プレクラスの取組の具体的内容を伺います。 (3) 吾妻小学校建て替えの概要について伺います。	市 長 教育長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承

質問事項	要 旨	答 弁 者
4 頼れる福祉 (5 ページ)	地域包括支援センターについて以下伺います。 (1) 現在の地域包括支援センターについて (2) 増設する場所や想定される効果について	市 長
5 便利なインフラ (5～6 ページ)	(1) レベル2の自動運転バスによる既存バス路線での有償運行について以下伺います。 ア これまでの取組について イ 運行や運営等について (2) シェアサイクル「つくチャリ」での移動の利便性向上や道路渋滞の緩和、市民の自転車利用の促進について、以下伺います。 ア 拡充する利用エリアと台数について イ 自転車レーンや道路の整備について	市 長
6 活気ある地域 (6 ページ)	(1) 豊里ゆかりの森に整備される木工シェア工房の目的や効果について伺います。 (2) 区域指定エリア追加場所の選定基準等の考えを伺います。 (3) 「街なかで気軽にアーバンスポーツを楽しめ多様な世代が交流できる場の整備」について具体的内容を伺います。	市 長
7 誇れるまち (6～7 ページ)	道の駅の整備検討のこれまでの状況と今後について伺います。	市 長
8 むすびに (7～8 ページ)	イギリスのマンチェスターでの「コミュニティ共同組合」について伺います。	市 長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承



会派代表質問発言通告書

令和 8 年 2 月 17 日
午前 11 時 59 分 受付
(通告書 3 枚) No. 1

令和 8 年度市政運営の所信と主要施策の概要に対し、下記の事項について、会派を代表して質問したいので通告します。

令和 8 年 2 月 17 日

つくば市議会議員 黒田 健祐 様

会派名 つくば・市民ネットワーク 代表者氏名 川村 直子

会派構成議員数 4人 発言者氏名 あさのえくこ

質問事項	要 旨	答 弁 者
1 はじめに (1～2 ページ) (1) インフラ、既存事業の見直しについて (2) 「15分都市」の機能について	(1) 「すべてを従来どおり維持し続けることは、もはや現実的ではありません」「既存事業については、来年度から効果や重要度を改めて検証し、見直しや縮小、場合によっては廃止も含め、不断の改革を進めていきたい」について。この進め方について伺う。 (2) 「日常生活に必要な機能が身近に整うまちづくり『15分都市』」について。「15分都市」で整うべき機能はどのようなもので、どのように整えていく予定か伺う。	市長 教育長
2 徹底した行政改革 (3～4 ページ) (1) 市のウェブサイトの改善について (2) 専門職の会計年度任用職員の任用の在り方	(1) 「地域の困りごとを解決する『やさしいテクノロジー』を活用」について。テクノロジーの入り口である市のウェブサイトが分かりづらく、やさしいとは言い切れないと考える。利用する市民目線に立ったサイトの改善について伺う。 (2) つくば市では「市民サービスの向上と持続可能な行政運営の実現」のために、多くの専門資格を持った職員が会計年度任用職員として任用されており、就業形態として非常に不安定である。また、市民にとってもサービスの質の向上につながらず不利益が生じている。継続的に必要な業務であり、かつ高度な専門性（国家資格等）を有する業務に従事する会計年度任用職員は、本来なら正職員として採用すべきだが、市の考えを伺う。	市長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承

質問事項	要 旨	答 弁 者
<p>3 安心の子育て・教育 (4ページ)</p> <p>(1) プレスクールの連絡体制構築</p> <p>(2) 学校サポーターの在り方</p> <p>(3) 小規模特認校について</p>	<p>(1) 「来日間もない児童生徒を対象に、日本語や学校生活の基礎習得を支援するプレスクール・プレクラス事業を新たに開始します」について。開始後の連絡体制、ケース検討等についてどのような体制を構築する予定か具体的に伺う。</p> <p>(2) 学校サポーターを次年度から大きく削減したが、その経緯について伺う。</p> <p>(3) 来年度2つの小学校で開校する「小規模特認校」に関して、目的と概要について伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>4 頼れる福祉 (5ページ)</p> <p>(1) 配偶者暴力相談支援センター</p> <p>(2) 市の相談業務につながる電話</p>	<p>(1) 長年要望してきた配偶者暴力相談支援センターが開所するが、改めてつくば市に設置することでの相談者のメリットについて伺う。また、開所に伴い相談体制がどのように強化されるのかについて伺う。</p> <p>(2) 現在、ダイバーシティ推進室の「女性のための相談」受付電話は専用番号が公開されているが、他の相談に関しては代表番号からつながることになっている。他自治体では多くの相談がダイレクトコールになっている。代表番号にしている理由、及び専用番号の設置と公開についての考えを伺う</p>	<p>市長</p>
<p>5 便利なインフラ (5～6ページ)</p> <p>中央公園リニューアルについて</p>	<p>中央公園リニューアルについて。複数回の意見募集やワークショップなどを行ったがそれらの意見の基本計画等への反映を含めた進捗を伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>6 活気ある地域 (6ページ)</p> <p>(1) グリーンインフラの増加について</p>	<p>「緑豊かな自然の息吹をまちに宿し」について</p> <p>(1) 市長の英国訪問の報告で、開発するなら自然を10%増やす、という取組が紹介されていたが、つくば市でも昨年より「グリーンインフラ」の考えが導入されている。今後も開発がめじろ押しのつくば市で緑を増やすために何をしていくのか。例えば市役所周辺への植樹等、緑を増やしていく施策について伺う。</p>	<p>市長</p>

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了 承

質問事項	要 旨	答 弁 者
(2) 気候危機対策について	(2) 既存住宅の断熱改修の促進について 市民が取り組むことができる有効な手段として、家屋の断熱化が挙げられる。この点に関して気候市民会議つくば2023における提言でも5点提出されているが、来年度から始まる第4次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）では、進捗管理指標として、新築住宅や建物のみが挙げられている。グルノーブル・アルプ共同体では、2050年までに既存住宅の80%を更新する目標で支援が行われているとのことだが、既存住宅への断熱改修に関しての考えを伺う。	市長
7 誇れるまち（6～7ページ） 生物多様性に関する施策について	生物多様性に関する協議会が設立されることを評価する。協議会及びネイチャーポジティブの実現に向けて以下伺う。 (1) 協議会の構成人員、団体 (2) ネイチャーポジティブの実現に向けては自然共生サイトを増やすことが必要と考えるが、そのための施策	市長
8 むすびに（7～8ページ） (1) 普通交付税不交付団体であることについて	(1) 「市民のみなさんに負担をお願いする」について。国が実施を決めたさまざまな事業について、交付税措置の場合には、不交付団体であるつくば市には交付金が交付されず、多くの市税を投入していることが多くの市民には知られていない。この課題について市として国に意見すべきと考えるが、市の考えを伺う。	市長
(2) 労働者協同組合の推進について	(2) 市民協働の手段として「コミュニティ協同組合」が例示された。また、2年前から「労働者協同組合」等の提案がなされてきたが、つくば市ではまだ実績が1件（2026年2月現在）である。学習会等が積極的に開かれているが、一歩進んで市民がやってみようと思えるような働きかけが必要と考える。市長がヨーロッパで見聞してきた内容を含め、今後考えられる具体的な働きかけの施策について伺う。	市長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承



会派代表質問発言通告書

令和8年2月17日
午前11時50分受付
(通告書 3 枚) No. 1

令和8年度市政運営の所信と主要施策の概要に対し、下記の事項について、会派を代表して質問したいので通告します。

令和8年2月17日

つくば市議会議長 黒田 健祐 様

会派名 公明党つくば

代表者氏名 渡辺 峰子

会派構成議員数 3人

発言者氏名 渡辺 峰子

質問事項	要旨	答弁者
1 はじめに (1～3ページ)	(1) 質の高い施策とは具体的にはどのような状態を指すのか伺います。 (2) 本市において「15分都市」をどのような姿として描き、全ての地域で同じ水準を目指すのか、あるいは地域特性に応じた段階的な形を想定しているのか、具体的な考え方を伺います。	市長
2 令和8年度当初予算(案)の概要 (3ページ)	(1) 予算編成に当たっては、つくば市未来構想に掲げる未来像の実現に向け、つくば市戦略プランにおける施策及び「市長公約事業のロードマップ」における6つの柱に、重点的かつ優先的に対応しているとのことですが、「市長公約事業のロードマップ」の進捗状況について伺います。 (2) 既存事業の検証、見直しや縮小、廃止も含めた不断の改革とのことですが、縮小や廃止の判断基準について伺います。	市長
3 徹底した行政改革 (3～4ページ)	(1) 書かない窓口・オンライン手続における、高齢者や障がいのある方等に対する伴走支援の取組について伺います。 (2) デジタル化等による業務効率化により創出された人的資源について伺います。	市長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成15年12月1日全員協議会了承

質問事項	要 旨	答 弁 者
<p>4 安心の子育て ・教育 (4ページ)</p>	<p>(1) 産前産後支援について、孤立予防の観点からの支援体制をどのように強化していくのか伺います。</p> <p>(2) ブックスタート事業を単なる配布にとどめず、養育不安の早期把握や相談支援へつなげる仕組みをどのように構築していくのか伺います。</p> <p>(3) プレスクール・プレクラスにおいて、保護者支援や就学後のフォローアップを含め、切れ目のない支援体制をどのように構築していくのか伺います。</p> <p>(4) 部活動改革・地域展開推進事業において、地域移行に伴う格差が生じないように、費用負担の考え方及び指導者の質の確保をどのように進めているのか伺います。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>5 頼れる福祉 (5ページ)</p>	<p>(1) 地域包括支援センター増設において、待つだけでなく出向く支援へと発展させることが重要と考えます。多職種がどの段階で連携し、誰が最初に動くのかといった役割分担の仕組みをどのように構築していくのか伺います。</p> <p>(2) つくばこどもの青い羽根基金を活用したこどもの進学支援は貧困の連鎖を断つ重要な取組です。さらに、単発の機会提供にとどまらず、家庭状況に応じた伴走型支援へと発展させていくことが重要と考えますが、市の考えを伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>6 便利なインフラ (5～6ページ)</p>	<p>(1) 様々なモビリティの導入が進む一方、移動に困難を感じている高齢者や交通空白地域の課題は依然としてあります。これらの取組を「実証」から「生活の足の確保」へどのように結びつけていくのか伺います。</p> <p>(2) 自動運転バスにおいて、将来の技術導入と併せて、現在の公共交通の維持・改善をどのように両立させながら進めていくのか伺います。</p>	<p>市長</p>

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承

質問事項	要 旨	答 弁 者
7 活気ある地域 (6 ページ)	心安らぐ自然環境と活気ある産業振興を両立し、住み続けたいまちづくりを進めるために、雇用創出や地域経済への還元をどのように図っていくのか伺います。	市長
8 誇れるまち (6～7 ページ)	<p>(1) 「道の駅」において、観光やイベント時だけでなく、日常の買い物や交流の場として市民に親しまれることが重要と考えます。市民生活の中に自然と根付く施設として、どのような運営を目指していくのか伺います。</p> <p>(2) 芸術文化創造拠点において、市民や子どもたちが継続的に参加できる仕組みをどのように構築していくのか、市の考えを伺います。</p> <p>(3) 図書館の整備において、学びや交流を支える拠点として、また世代や背景の異なる人がつながる居場所として、どのような機能を重視していくのか伺います。</p>	市長
9 むすびに (7～8 ページ)	<p>市長が掲げる「ともに創る」市政を、理念にとどめず実効ある仕組みとして定着させていくことが重要です。</p> <p>(1) 市民参加を一過性で終わらせず、政策形成課程に継続的に反映する仕組みづくりについて具体的に伺います。</p> <p>(2) 「対等なパートナー」としての制度をどのように具体化していくのか伺います。</p>	市長

※発言の質問事項・要旨については、会派内で意見調整の上、提出してください。

※答弁は、原則として市長が行います。

平成 15 年 12 月 1 日 全員協議会了承